

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

様式2  
(2023年度)

### 事業実績報告書

講座番号	B-33	講座名	放射線・放射能のことを知り、測ってみる。
記載日	2023/7/25	団体名・企業名	未来につなげる東海ネット市民放射能測定センター

#### 〈講座全体の概要〉(300字程度)

放射線・放射能の基礎知識を学び、霧箱実習で放射線を可視化を体験した。  
Cラボにある測定器を紹介し、その原理を学び、実際に試料を測定器にセットして情報の入力などをして、どんなデータが読み取れるのか学習した。  
また実際にHSF、ラディ、サーベイという小型の測定器を手にして、近所の公園や天白川にかかる橋を渡って、空間線量率の動きを測ってみた。  
また医療被曝や原子力防災についての基礎知識を学び、どう備えれば良いのか考える。



※写真1の説明

聖ヨハネ教会堂での第三回講座

※写真2の説明

近くの公園でサーベイとラディを使って空間線量を測定している様子

#### 〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

市民放射能測定センター(通称Cラボ)では、月に二三回サイエンスカフェなどで大沼さんたちのレクチャーを受けているのですが、私たちだけでなく多くの人に放射能について知ってもらいたいと思って企画しました。  
実際にはなかなか多くの人を集めることが出来ず残念です。が、今回は小学生、中学生、大学生の参加各々1名あって楽しかったです。中学生は自由研究のテーマを探していて、参考にしたいようでした。  
今回の三回目四回目講座では、となりのヨハネ教会堂をお借りしたので、暑い日でも快適に講義を聴くことができましたと思います。

#### 〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)

- ①測定器の数値の変化がわかりやすいのとスタッフの方の説明や対応が良かったです。
- ②長い間疑問に思っていたことが解決しました。
- ③医療被曝の現状をふまえて、自衛手段や選択手段について知りたかった。
- ④夏休みの自由研究のテーマになるようなお話が聞ければと思います。